

キャリア教養学科の三つの方針

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

キャリア教養学科は、教養科目と専門科目を合計して62単位以上を修得し、以下の【学習成果】を獲得したと認められる者について、卒業を認定するとともに短期大学士(教養)の学位を授与する。

【学習成果】

<知識・理解>

- 1 建学の精神を理解している。
- 2 コミュニティの課題を発見して、それを解決していけるような、高度で幅広い教養を修得している。

<思考力・判断力・表現力>

- 3 自ら設定した課題について、多様な視点から建設的に考察することができる。
- 4 学んだ知識を有機的に結びつけて、コミュニティに貢献することができる。
- 5 他者と協働するためのスキルの修得を通じて、社会人として自らを発信することができる。

<主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）>

- 6 社会における自分の役割を自覚し、常に学び続けながら自らの力を高めることができる。
- 7 多様な人とつながるコミュニケーション力と真摯な態度を修得している。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

<知識・理解>

- 1 建学の精神を理解する科目を編成する。
- 2 コミュニティの課題を深く考えるための政治、経済、法制、文化などに関するアカデミックな知識を培う科目を体系的に編成する。
- 3 自己理解を深めるために、職業スキルやメディア・リテラシーに関する力を育むための科目を編成する。

<思考力・判断力・表現力>

- 4 特別研究などの科目を通じて、コミュニティで生じている複雑な問題に対処するための科目を編成する。
- 5 ものごとを俯瞰しながら細やかな配慮ができる力を養える科目を編成する。
- 6 主体的に知をつなぎ、統合する力を養う科目を編成する。
- 7 長期的なライフキャリアを見据える力を涵養する科目を編成する。
- 8 他者の声に耳を傾け、自分の考えを多様な表現によって伝えることができるようになる科目を編成する。

<主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）>

- 9 相手の立場に立ち、違いを受け容れ、協働できる科目を編成する。
- 10 強くてもしなやかな意思と、誰かのために一歩を踏み出す力を養う科目を編成する。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

<知識・理解>

- 1 建学の精神を理解しようとする意欲のある人。
- 2 入学後の学修に必要な基礎学力としての知識を有している人。

<思考力・判断力・表現力> <主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）>

- 3 自ら考え行動し、何事にも積極的に参加しようという意欲を持つ人。
- 4 多様な人とコミュニケーションをとって、自らのキャリアを切り開く意思がある人。
- 5 コミュニティを理解するための教養と自立のための実学を身につけたいという意欲を持つ人。